

2010년 5월 3일 보낸 편지입니다.(786조회)

조용한 응원  
静かな応援

나 역시 잘하고 있을 땐  
私はやはり、よくやっているときは

요란하고 화려한 응원을 받고 싶지만  
繚乱で、豪華な応援をしてもらいたいが

요즘처럼 기분이 가라앉거나 풀이 죽어 있을 때는  
今のように気分が沈んで、元気がない時は

그냥 옆에 있어주는 응원, 따뜻하게 손잡아주는 응원  
ただ、横にいてくれる応援、暖かく手を握ってくれる応援

그리고 가만히 안아주는 응원, 그런 조용한 응원을  
そして、そっと抱いてくれる応援、そんな静かな応援を

받고 싶다.  
してもらいたいです。

- 한비야의《그건, 사랑이었네》중에서 -  
- ハン・ビヤの<それは、愛だったのね>より -

\* 울고는 싶은데  
\* 泣きたいと思ったのに

울 수조차 없을 때가 있습니다.  
泣くさえできないときがあります

골방에 들어가 울음을 삼키고 가까스로  
小部屋に入って、涙をのんで、何とか

몸을 추스리는 때가 있습니다. 바로 그런 순간에  
元気を出すときがあります。まさに、このような瞬間に

누군가 조용히 다가와 손을 잡아 일으키면  
誰かが静かに近づいて、手をつかんで起こせば

그보다 더 큰 응원이 없습니다.  
それより、さらに大きな応援はありません

그 한 사람이면 족합니다.  
その一人であれば、十分です。

풀이 죽다  
《관용구》気がくじかれて元気がない。

골:-방 [一房]

[명사] (居間などに附属した物置きなどに使う)小さい部屋。

요란 [擾亂·搖亂]

[명사·하다형 형용사]<스럼다형 형용사>うるさく騒がしいこと;騒々しいこと;けたたましいこと。

가라-앉다

<1> [자동사] (底·中に)沈む;没する;沈殿する。

<2> [자동사] (痛み・悩み・興奮などが)静まる;治まる;安らぐ。

풀3

<1> [명사] 草。

<2> [명사] ‘갈풀’의縮約形。

삼키다

<1> [타동사] 飲み下す;飲み込む;飲む。

<2> [타동사] 人の物を横取りする;横領する;着服する。

가까스로

[부사] やっと;どうにかこうにか;辛うじて;なんとか。

추스르다

<1> {타동사·르 불규칙 활용} 物を軽くゆすぶる。

<2> {타동사·르 불규칙 활용} (物を)持ち上げる;ずり上げる。

일으키다

<1> [타동사] 引き起こす;立たせる。

<2> [타동사] (事を)起こす;まき起こす;引き起こす。

족-하다 [足-]

{형용사·여 불규칙 활용} (数量や能力などが)充分だ;足りる。

가만-히

<1> [부사] 静かに;じっと;おとなしく;黙って。

<2> [부사] ひっそり;そっと。

2010년 5월 4일 보낸 편지입니다.(1,461조회)

흙도 부드러워야 좋다  
土も柔らかいとよい

딱딱하게 굴면 손님이 끊긴다.  
硬く振舞えば、客に切られる

딱딱한 이빨보다는 부드러운 혀가 오래 남는다.  
硬い歯よりは、やわらかい舌がよく残る。

무엇이든 부드러워서 나쁜 것은 없다. 흙도 부드러워야 좋다.  
何事もやわらかくて、悪いことはない。土も柔らかいとよい

겉흙이 딱딱하면 물과 공기가 흙 속으로 잘 들어가지 못한다.  
表面の土が固ければ、水と空気が土の中によく入ることができない

속흙이 딱딱하면 뿌리가 뻗는데 힘을 너무 소모해  
土の中が硬ければ、根を張ることに力を消耗して

나무가 잘 자라지 못한다.  
木がよく育たない。

- 이완주의《흙을 알아야 농사가 산다》중에서 -  
- イワンジュの〈土をわかって、農業が生きる〉より -

\* 차가우면 딱딱해집니다.  
\* 冷たければ、硬くなります

싫어하고 미워하면 더 딱딱해집니다.  
嫌って、憎めばさらに硬くなります。

잘 분노하고 부정적이면 뿌리까지 굳어집니다.  
よく怒って、否定的であれば、根まで硬くなります。

흙이 그렇듯 사람도 부드러워야 좋습니다.  
土も同じように、人も軟らかくてこそよいです

따뜻해야 비로소 부드러워집니다.  
暖かくてようやく、やわらかくなります。

사랑해야 따뜻해집니다.  
愛してこそ、暖かくなります。

딱딱-하다

<1> {형용사·어 불규칙 활용} 堅い;固い;こちこちである。

<2> {형용사·어 불규칙 활용} (態度·ことばつき·文章·雰囲気などが)堅苦しい;堅い;重い。

굴:다2

[자동사] 副詞形の用言に付いて「そういうふうに行動すること」を表わす語:振舞う。

이빨 齒

뻗다

<1> [자동사] ‘뻗다1’의強調語。

<2> [자동사] 「死ぬ」의俗っぽい語。

뻗다1

<1> [자동사] (枝やつるなどが)伸びる;根が張る。

<2> [자동사] (力や影響が)及ぶ。[센말]뻗다

2010년 5월 5일 보낸 편지입니다.(571조회)

연둣빛 어린잎  
薄緑の若い葉

가장 여리고 가장 푸른 잎이  
一番柔らかく、一番青い葉が

맨 위에서 나무의 성장을 이끌어 갑니다.  
最上部で、木の成長を導いていきます

연둣빛 어린잎이 살아 있어야 나무도 살아 있는 것입니다.  
薄緑の若い葉が、生きていてこそ、木も生きているのです

연둣빛 어린잎이 밀고 올라간 만큼 나무는 성장한 것입니다.  
薄緑の若い葉が、押して上っていくほど、木は成長するでしょう

싱싱하게 살아있는 젊은 소년 소녀, 연둣빛 잎처럼  
生き生きと生きている少年少女、薄緑の葉のように

푸른 젊은이들이 변화의 맨 앞에서 있을 때  
若い若者たちが、変化の一番前に立っているとき

새로운 시대는 오는 겁니다.  
新しい時代が来るはずですよ

- 도종환의《마음의 심표》중에서 -  
- ド・ジョンフアの<心の終止符>より -

\* 깊은산속 웅달샘에도 연둣빛이 짙어가고 있습니다.  
\* "深い山中の泉"にも薄緑が濃くなっています

싱싱한 빛깔, 살아있는 생명의 빛깔입니다,  
生き生きとした色どり、生きている生命の色どりです

어느 한 군데 파릇하지 않은 곳이 없고  
どの場所も青くなってないところはなく

곳곳마다 생명의 숨결이 가득합니다.  
場所場所に生命の息づかいがあふれています

가장 여리고 푸른 연둣빛 어린잎.  
一番柔らかく青い薄緑の若い葉

'사람숲'의 생명력이고  
'人の森'の生命力であり

우리의 미래입니다.  
私たちの未来です。

밑:다

<1> [타동사] (力を加えて)押す;押し進める。

<2> [타동사] 取り去る;(ひげを)剃る;(かんなで)削る;(垢を)落とす。

빛-깔

[명사] 色彩;色;いろどり。

군데

[의존명사] 箇所。

파릇-하다

{형용사·여 불규칙활용} 青みがかっている;薄く青い。

2010년 5월 6일 보낸 편지입니다.(1,532조회)

내가 제일 예뻐할 때  
私が一番かわいかったとき

내가 제일 예뻐할 때  
私が一番かわいかったとき

거리들은 와르르 무너져내리고  
街はガラガラ崩れ落ちて

난데없는 곳에서  
思いがけないところから

푸른하늘 같은 게 보이곤 했다  
青い空のようなものが見えたりした

내가 제일 예뻐할 때  
私が一番かわいかったとき

나는 너무나 불행했고  
わたしは、あまりにも不幸だった

나는 너무나 안절부절  
私は、あまりにもそわそわして

나는 더없이 외로웠다  
私はこの上なくさびしかった

- 이바라기 노리코의 시《내가 제일 예뻐할 때》(전문)에서 -  
- 茨木 のり子の〈私が一番かわいかったとき〉(前文)より -

\* 아기를 사랑하면  
\* 子供を愛すれば自分を愛すれば

모든 순간이 다 예쁘게 보입니다.  
すべての瞬間が可愛くみえます

그가 울어도 예쁘고 웃어도 예쁩니다.  
ないても可愛くて、笑っても可愛いです。

넘어져도 예쁘고 일어서 걸어도 예쁩니다.  
倒れても可愛くて、立って歩いても可愛いです

자기를 사랑하면 인생의 모든 순간이 다 아름답습니다.  
自分を愛すれば、人生のすべての瞬間がすべて美しいです

한 순간의 절망, 이내 지나갈 불행 때문에  
ひと時の絶望、すぐに過ぎ去る不幸のために

그 찬란한 순간을 미처 깨닫지 못하고  
その絢爛な瞬間を狂って気づくことができず

지나쳐 버렸을 뿐입니다.  
通り過ぎてしまうだけです。

와르르

<1> [부사] (石垣などが)崩れる音, またはそのさま:がらがら。

<2> [부사] 多くの人が一度に動くさま:どっと;わっと。

난:데-없다

[형용사] だしぬけ;思いがけない;突然である;不意である。

너무-나

[부사] ‘너무’の強調語:あまりに;あまりにも。

안절부절-못하다

{자동사·여 불규칙 활용} (興奮·不安·焦燥·恐怖などのために)いたたまれない;そわそわして落ち

着かない;どうしていいかわからない;居ても立ってもいられない;いらいらする。

외롭다

{형용사·ㄹ 불규칙 활용} 心細い;わびしい;身寄りが無い;さびしい;孤独だ;一人ぼっちだ。

이내3

<1> [부사] (時間的に)忽ち;立ち所に;間もなく;すぐ;ただちに。

<2> [부사] (空間的に)すぐ;直ちに。

찬:란 [燦爛]

[명사·하다형 형용사] 燦爛。

<1> [명사·하다형 형용사] 光り輝いてまぶしいさま。

미치다1

[자동사] 狂う。

<1> [자동사] 気が違う;気がふれる。

지나치다

<1> [자동사][타동사] (言動などが)度を越す;度が過ぎる;行き過ぎる。

<2> [자동사][타동사] 通り過ぎる;通り越す。

이바라기 노리코(茨木のり子)

茨木 のり子(いばらぎ のりこ、1926年6月12日 - 2006年2月17日)は、同人誌『權』を創刊し、戦

後詩を牽引した日本を代表する女性詩人にして童話作家、エッセイスト、脚本家である。

ちなみに原文

～わたしが一番きれいだったとき～

わたしが一番きれいだったとき

街々はがらがら崩れていって

とんでもないところから

青空なんかが見えたりした

わたしが一番きれいだったとき

まわりの人達が沢山死んだ

工場で 海で 名もない島で

わたしはおしゃれのきっかけを 落としてしまった

わたしが一番きれいだったとき

だれもやさしい贈物を 捧げてはくれなかった

男たちは拳手の礼しか 知らなくて

きれいな眼差だけを残し 皆発っていった

わたしが一番きれいだったとき

わたしの頭はからっぽで

わたしの心はかたくなで

手足ばかりが栗色に光った

わたしが一番きれいだったとき

わたしの国は戦争で負けた  
そんな馬鹿なことって あるものか  
ブラウスの腕をまくり 卑屈な町をのし歩いた

わたしが一番きれいだったとき  
ラジオからはジャズが溢れた  
禁煙を破ったときのように くらくらしながら  
わたしは異国の甘い音楽を むさぼった

わたしが一番きれいだったとき  
わたしはとてふしあわせ  
わたしはとてとんちんかん  
わたしはめっぼうさびしかった

だから決めた  
できれば長生きすることに  
年とってから 凄く美しい絵を描いた  
フランスの ルオー爺さんのように ね



2010년 5월 7일 보낸 편지입니다.(1,212조회)

당신의 고유한 주파수  
あなたの固有な周波数

당신 삶의 모든 것들,  
あなたの人生のすべてのこと

즉 사람, 장소, 사물, 상황, 사건들은  
すなわち人、場所、事物、状況、事件は

당신 고유의 진동이 반영된 것에 지나지 않는다.  
あなた固有の振動が、反映されることに過ぎない

람타는, "당신 삶 속의 모든 것은 당신이라는 존재의  
ラムサは"あなたの人生の中のすべてのことは、あなたという存在の"

고유한 주파수"라고 말한다. 그래서 '내가 누구인지'  
固有な周波数"だといった。だから'私が誰か'

알고 싶으면 주위를 돌아보기만 하면 된다.  
わかりたいれば、周囲を見渡せばよい

우주는 항상 그 답을 주고 있다.  
宇宙はいつも、その答えを与えてくれる

- 윌리엄 안츠·마크 빈센트의《블립 Bleep》중에서 -  
- ウィリアム・アーンツ、マーク・ビセンティーの<ブリープ>より -

\* 누구나 자기만의 분위기가 있습니다.  
\* 誰でも自分だけの雰囲気があります

오직 그 사람만의 빛깔과 향기가 있습니다.  
ただその人だけの色取りと香りがあります

그래서 그 사람이 나타나면 주위가 금새 밝아지기도 하고  
だから、その人が現れれば、周囲がすぐに明るくなったり

어두워지기도 합니다. 자기 주변을 향기롭게도 하고  
暗くなったりします。自分の周りを香り高くも

매캐하게 만들기도 합니다. '좋은 주파수'를 내면  
煙たくさせたりもします。'いい周波数'を出せば

좋은 주파수를 가진 사람들이 모입니다.  
いい州は週を持った、人々が集まります。

주위를 둘러봐도 다 좋습니다.  
周りを振り返ってみれば、さらによいです。

금새 すぐに  
매캐-하다  
[형용사·여 불규칙 활용] かび臭い;煙たい。[큰말]메케하다  
즉 [即]  
[부사] すなわち;つまり;言いかえれば。

20100507.txt

RAMTHA (람타) 램사

2010년 5월 8일 보낸 편지입니다.(524조회)

매주 토요일엔 독자가 쓴 아침편지를 배달해드립니다.  
毎週土曜日には、読者が書いた朝の手紙を配達いたします。

오늘은 김영숙님께서 보내주신 아침편지입니다.  
今日は、キム・ヨンソクさまから、送っていただいた朝の手紙です。

저 꽃이 필 때는  
あの花が咲くとき

난 알고 있었지  
私は知っていたのか

아름다운 사람들은 아름다운 추억을 가졌고  
美しい人々は、美しい記憶を持っていた

푸른 사람들은 푸른 꿈을 지니고  
青い人々は、青い夢をもって

난 알고 있었지  
私は知っていたのか

꿈을 향해 걷는 사람들은 깊은 마음으로  
夢に向かって歩く人々は、深い心で

매서운 계절을 이겨낸 꽃같은 기억들을 지니고  
厳しい季節を勝ち残ってきた花のように、記憶をもって

그래 저 꽃이 필 때는  
そう、あの花が咲くとき

세찬 비바람 견디어내고  
激しい雨風を耐えてきて

하늘 보며 별빛을 보며  
空を見ながら、星を見ながら

그날을 기다렸겠지  
その日を待っていたのだろう

언젠가 그 기억들 세상에 말하리라  
いつの日かその記憶を世の中に言おうと

그래서 꽃은 피는 것이겠지  
だから、花は咲くのでしょう

- 홍광일의 시집《가슴에 핀 꽃》중에서 -  
- ホン・ガンイルの詩集<胸に咲いた花>より -

\* 세상의 모든 아름다움은  
\* 世の中のすべての美しさは

추운 겨울의 고통과 시련을 넘어설 때 피어납니다.  
寒い冬の季節の苦痛と、試練を越えるとき花開きます

오늘의 어려움이나 어둠 때문에 길을 잃지 말고  
今日の難しさや、闇のために道をなくしてしまわず

빛으로 향하는 마음을 곧게 세우고 가면  
光のほうに心をまっすぐ立てていけば

자신이 꿈꾸던 간절한 소망은  
自身の夢見た切実な願いは

반드시 이루어집니다.  
必ず叶います。

좋은 글 주신 김영숙님께  
いい文章を書いてくださったキム・ヨンソクさまに

감사와 축하의 인사를 드립니다.  
感謝と祝賀の挨拶をいたします。

좋은 주말 보내시고  
いい週末を送って

오늘도 내일도 많이 웃으세요.  
今日も、明日もたくさん笑ってください

충주 '깊은산속 옹달샘'에서...  
忠州'深い山中の泉'より

지니다

<1> [타동사] (物を)身につける;所持する;携帯する。

<2> [타동사] 保有する;所有する;所蔵する。

매섭다

<1> {형용사·ㄹ 불규칙 활용} (氣性や顔つきなどが)冷たく陰しい;すごい;鋭い。

<2> {형용사·ㄹ 불규칙 활용} (状況·寒さ·風などが)厳しい;激しい。

세:-차다

[형용사] 強い;激しい;強烈だ;盛んだ;荒い。

간:절 [懇切]

[명사·하다형 형용사] 懇切;非常に手厚く親切なこと;切実なこと